

製品表示に注目! - 正しい取り扱いのために-

私たちの身の回りには多種多様な化学製品が存在し、普段 の生活と密接な関わりをもっています。しかし、時としてそ の取り扱いを誤ると、思わぬ被害を引き起こすことがあり、 「強アルカリ性の製品が眼に入ったが、すぐに水で洗い流さ なかったために、眼の角膜に損傷があり通院した」「誤って 過剰に製品を使用したため、体調不調になった」「製品をこ ぼしてそのままにしたため、家具が変色してしまった」等の 相談が当センターに寄せられています。このような事故を未 然に防止するため、それぞれの製品には、その製品を安全か つ効果的に使用するためのさまざまな情報が表示されてい ます。



私たちは、初めて使う製品で使い方がわからない時は、慎重になり製品表示をよく読みます。しか し、使い方の見当が容易につく時は、すぐに使ってしまいがちです。また、日常的に使用する製品に 危険なものなどないという思い込みや、自分だけは大丈夫という根拠のない自信から、ついつい製 品表示を見過ごしがちです。製品表示は、製品からあなたへの大切なメッセージであると捉えて、 改めて注目してみてください。結果として、それがあなたの身を守ることになるのです。

様々な化学物質が調製されて化学製品は作られていますが、その製品ごとに「薬機法」(医薬品・ 化粧品)、「消防法」(危険物)、「高圧ガス保安法」(エアゾール製品)、「農薬取締法」「毒物劇物取締 法」「容器包装リサイクル法」など、それぞれに該当する法律で定められた事項を製品に表示するこ とが義務づけられています。

また、日常生活で使用される繊維製品、合成樹脂加工品、電気機械器具、雑貨工業品のうち、消費 者が製品を選ぶ際に、品質を外観だけで判断することは困難ですが、使用する上で品質を見分ける 必要性の高い製品があります。この様な製品は、品質を見分けるために必要な表示事項・方法を定め ている「家庭用品品質表示法」に基づいた表示がされています。プラスチック製品、石けん・洗剤・洗 浄剤、ワックス、塗料、漂白剤などの化学製品が相当していて、それぞれの品目ごとに成分・性能・ 用途・取り扱い上の注意などの表示が義務づけられています。

さらに、鉱工業品のうち、購入する際に品質の判定が難しく、品質に欠陥があった場合に消費者の 被る不利益が大きい製品については、それぞれの品質や検査方法などを「産業標準化法」に基づい て日本産業規格(JIS)が設けられています。自動車ガソリン、灯油、軽油、自動車用つや出しワッ クス、化粧石けん、洗濯石けん、洗濯用・台所用合成洗剤などの化学製品について、定められた基準 を満たした製品については、JISマークを表示することが認められています。

これらの法律で定められた表示に加え、それぞれの製品の業界団体では、品質や安全性を確保す るための自主基準を設けて、それに基づく製品表示を行っています。表示の内容は製品ごとに異な りますが、廃棄上の注意等の項目を設けたり、警告のための絵表示を統一したりするなど、それぞ れの業界での取り組みがなされているほか、メーカーが独自に行っている表示もあります。

化学製品に限らず、どのような製品にも、メーカーが期待する安全な使用方法があります。つい分 かっているつもりで 見落としがちな製品表示ですが、誤った使い方による事故を防ぐため、必ず表 示を確認した上で製品をご使用ください。またメーカーも、より安全な製品設計を心がけるととも に、必要な情報が正確に伝わるように、見やすく、分かりやすく、そして偽りのない表示を行うこと は言うまでもありません。

【表示の一例】 (社)日本エアゾール協会の 自主基準による表示 家庭用品品質表示法に基づく表示 取り扱い上の注意 品名:ラッカー 成分:ニトロセルロース、合成樹脂(アルキド ・幼児の手の届かない所に保存し、子どもがい 樹脂)、顔料、有機溶剤 たずらしないように注意してください。 ・有機溶剤が含まれており、長時間溶剤のにお 用途:鉄、屋外木用 正味量:300ml いをかぐと有害であるので、塗るとき及び塗 塗り面積:0.7~1.1m2(2回塗り) ったあとしばらくの間は換気をよくしてくだ 使用方法: ・塗る前のごみ、油分、さび、カビ等をとって ・缶のさびを防ぐために、水周りや湿気の多い ください。 ところに置かないでください。 ・使用するときは容器を充分に振り、よく混ぜ 捨てるときは、押しボタンを押して中のガス を充分に抜き、他のごみと区別して捨ててく 用具の手入れ方法:ラッカー薄め液で洗ってく ださい。 ○○塗料株式会社 千代田区霞が関○丁目△番地 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、 火 気 厳 禁 可燃性 危険なため下記の注意を守ること。 第1石油類、危険等級Ⅲ ・炎に向けて使用しないこと。 合成樹脂エナメル塗料 ・ストーブやコンロ等火気の付近で使用しないこと。 火気注意 ・火気を使用している室内で大量に使用しないこと。 ・温度が40℃以上になるところに置かないこと。 (高圧ガス:LPガス) 消防法による表示 高圧ガス保安法による表示